

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210035
研究課題名	小児期胆汁うっ滞性疾患患者のかゆみの特徴
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 / 梅津 守一郎
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2023年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	小児期発症胆汁うっ滞性疾患患者にみられるかゆみに関する特徴を明らかにすることを目的としています。
研究の方法	担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、検査の値、その後の経過についての記録を集計させていただきます。
対象者	2007年4月1日から2023年3月31日のあいだに、当院で診療を受けた小児期胆汁うっ滞性疾患患者さんの一部の方を対象としています。
利用する試料/情報	患者背景（性別、診断時年齢、症状、身長、体重、基礎疾患）、内服薬の有無、アレルギー歴の有無、基礎疾患の有無、家族歴の有無、検査所見（AST（アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ）、ALT（アラニンアミノトランスフェラーゼ）、GGT（ガンマグルタミルトランスペプチダーゼ）、ALP（アルカリフォスファターゼ）、T.bil（総ビリルビン）、D.bil（直接ビリルビン）、Alb（アルブミン）、WBC（白血球）、Hgb（ヘモグロビン）Plt（血小板）、PT（プロトロンビン活性）、M2BPGi（マック2結合タンパク）、総胆汁酸、オートタキシン、病理組織的線維化重症度F0-4の結果）、かゆみの評価（pruritus analogue scale）、かゆみによるQOLの影響（川島の判定基準、5-D itch scale）
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
研究資金源	研究者の私費
結果公表	日本小児栄養消化器肝臓学会、日本小児肝臓研究会、日本肝臓学会などで発表し、論文は日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌などで論文として公表する予定です。
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 / 梅津 守一郎